

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座・准教授
氏名 Name	菊池 正和
専門分野 Academic Field	イタリア近現代演劇

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	未来派演劇の劇作法と演出術				
研究計画 Research Plan	<p>1. 1920 年代のいわゆる第二未来派の劇作法を取り上げる。とりわけ、1920 年 11 月 14 日に発表した「視覚的演劇宣言」において、現実と虚構、思考と実際の行為とは、それぞれ等しい価値を持つという前提のもとに、主観的な精神状態の演劇化という新しい劇作法を提出したピーノ・マスナータの戯曲作品を、同時代のヨーロッパにおける歴史的な前衛との影響関係を考慮に入れながら分析する。</p> <p>2. 1910-20 年代にイタリア演劇界に生まれた新たな動向である「劇作家兼座長」の劇作法と演出行為について検討する。未来派演劇とは別の側面から、後の演出家登場の下地を作ったと考えられるからである。具体的には、1912 年から 15 年までミラノのマンゾーニ劇場で市立劇団の座長を務めたマルコ・ブラーガ、1921 年に自らの劇団を立ち上げ巡業上演を行ったダリオ・ニコデーミ、そして 1925 年からローマ芸術座を率いたルイジ・ピランデッロの 3 人の劇作家兼座長を取り上げ、その上演記録から劇作法や演出法を詳細に点検する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	ヨーロッパ文学 (イタリア)	地域研究 (シチリア)	芸術一般 (演劇)	外国語教育 (イタリア語)	
キーワード Keywords	イタリア	演劇	未来派	演出	劇作法